

**SONY®**

PROFESSIONAL DISC DRIVE UNIT

# **PDW-U1**



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

このオペレーションマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しております。このオペレーションマニュアルをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**XDCAM HD**  
Professional Disc System



**MPEG HD422**

**MPEG HD**

**MPEG IMX**

**DVCAM™**

## **OPERATION MANUAL**

Japanese/English

**2nd Edition (Revised 7)**



3281393180

# 安全のために

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

5~7ページの注意事項をよくお読みください。

## 定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

## 故障したら使用を中止する

ソニーのサービス担当者、または営業担当者にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

### 異常な音、におい、煙が出たら



- 電源を切る。
- 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ソニーのサービス担当者、または営業担当者に修理を依頼する。

炎が出たら



すぐに電源を切り、消火する。

## 警告表示の意味

オペレーションマニュアルおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### ⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

### ⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

## 行為を指示する記号



指示

# 目次

---

△ 警告 .....	5
△ 注意 .....	6
その他の安全上のご注意 .....	7

---

## 第1章 概要

1-1 特長 .....	8
1-2 使用例 .....	10
1-3 推奨ソフトウェア .....	11
1-3-1 ソフトウェア一覧 .....	11

---

## 第2章 各部の名称と働き

2-1 前面パネル .....	12
2-2 後面パネル .....	13

---

## 第3章 準備

3-1 ソフトウェアのインストール .....	15
3-1-1 Windows の場合 .....	15
3-1-2 Macintosh の場合 .....	15
3-2 接続と設定 .....	17
3-2-1 コンピューターとの接続 .....	17
3-3 電源の準備 .....	18
3-4 ディスクの取り扱い .....	18
3-4-1 読み出し・書き込み可能なディスク .....	18
3-4-2 取り扱い上の注意 .....	18
3-4-3 誤消去を防止するには .....	19
3-4-4 ディスクを出し入れするには .....	19
3-4-5 電源が供給されない状態でディスクを取り出すには .....	20
3-4-6 メディア保護機能 .....	21

JP

---

## 第4章 ソフトウェアを使う

4-1 ユーティリティーソフトウェアの起動と終了 .....	22
4-1-1 起動する .....	22
4-1-2 終了する .....	22

---

## 付録

使用上のご注意 .....	23
結露について .....	23
仕様 .....	23



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により  
死亡や大けがにつながることがあります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



指示

### 電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

## ⚠ 注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり  
周辺の物品に損害を与えることがあります。



指示

### 指定の電源コードを使う

指定以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

### 製品の上に乗らない、重い物を載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



分解禁止

### 分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



指示

### 指定の電源で使用する

付属の AC アダプターでお使いください。

付属以外の製品でのご使用は、火災の原因となります。



指示

### コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

## 他の安全上のご注意

### ご注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

### 警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。

万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

### 注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。

### レーザー特性

波長 400 ~ 410 nm

発振形態 連続

レーザー出力 135 mW (max. of pulse peak)、65 mW (max. of CW)

本機は「クラス 1 レーザー製品」です。

# 概要

# 1 章

## 1-1 特長

PDW-U1 は、ノンリニア編集機と接続して、ビデオ / オーディオのデータの読み出しと書き込みができる小型・軽量のディスクドライブです。ノートタイプコンピューターとの組み合わせによるフィールドでの使用や、ノンリニア編集機との組み合わせによる安価な映像制作システムの構築に最適です。

本機の特長は以下のとおりです。

### すべての XDCAM フォーマットに対応

XDCAM<sup>1)</sup> シリーズが採用する、MPEG HD422、MPEG HD、MPEG IMX、DVCAIM のすべてのフォーマットおよびビットレートの読み出しおよび書き込みに対応しています。

1) XDCAM はソニー株式会社の商標です。

### フォーマット混在記録対応

フレーム周波数グループが一致する場合に限り、同一ディスク内に記録フォーマットが異なるクリップを記録したり、書き込んだりすることができます。<sup>1)</sup> 本機が対応しているシステム周波数は、次表のようなフレーム周波数グループに分類されます。

- 1) システム周波数、ビデオ解像度、ビデオコードック / ビットレート、またはオーディオチャンネル数 / ビット数のいずれかが一致しないとき、記録フォーマットが異なるクリップと見なされます。

フレーム周波数グループ	システム周波数
59.94Hz	59.94P
	59.94i
	29.97P
50Hz	50P
	50i
	25P
23.98Hz	23.98P

本機をフォーマット混在記録モードにすると、たとえば、HD422 クリップと HD420SP クリップを 1 枚のディスクに記録することができます。

### ご注意

記録フォーマットが異なるクリップは連続再生できないことがあります。

### 2 層ディスクに対応

本機は 1 層ディスク (23.3GB) と 2 層ディスク (50GB) に対応しています。

### USB インターフェースによる IT フレンドリーシステム

インターフェースには、汎用性の高い High-Speed USB (USB 2.0) を採用しているため、コンピューターに簡単に接続

できます。コンピューターから外部ドライブのデータファイルを読み込んだり、外部ドライブへデータファイルを書き込んだりするのと同じ感覚で使用することができます。

## ユーザーデータ記録モード

USB インターフェースを経由して、プロフェッショナルディスク上にユーザーデータ（XDCAM の AV ファイル以外のファイル）を PC データとして記録することができます。最大で 46GB（2 層ディスク PFD50DLA 使用の場合）のデータ記録が可能で、プロフェッショナルディスクをデータ記録用のメディアとしても使用できます。

### ご注意

- 作成可能なファイル数は、1 層ディスク 1 枚に対して最大で 5000、2 層ディスク 1 枚に対して最大で 6000 です（いずれの場合もディレクトリーを含む）。また、作成可能なクリップ数は、1 層ディスク、2 層ディスクとも最大で 300 です。

そのため、ディスク残量に余裕があつても書き込みができなくなる場合があります。

- UserData ディレクトリーに記録されたファイルを直接編集・実行しようとすると、アプリケーションの種類、設定により、エラーの原因となることがあります。

特に、起動したフォルダ下に一時的な作業領域を作成しようとする種類のアプリケーションのファイルや、実行ファイル形式のファイルの直接実行は行わないでください。

## 高速な転送速度を実現

新開発オプティカルドライブの搭載により、ノンリニア編集システムから高速なアクセス（読み出し最大速度 120Mbps/書き込み最大速度 84Mbps）が可能です。

## 簡易な XDCAM プレビュー環境が構築可能

アプリケーションソフトウェア Content Browser（Windows/Macintosh 対応）を使うことにより、本機と他の XDCAM 機器とを組み合わせて素材のプレビューや転送などが簡単に実行できる環境を構築できます。

◆ アプリケーションソフトウェアのインストール方法やその他の機能については、ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（11 ページ）をご覧ください。

## 小型、軽量のフィールド仕様

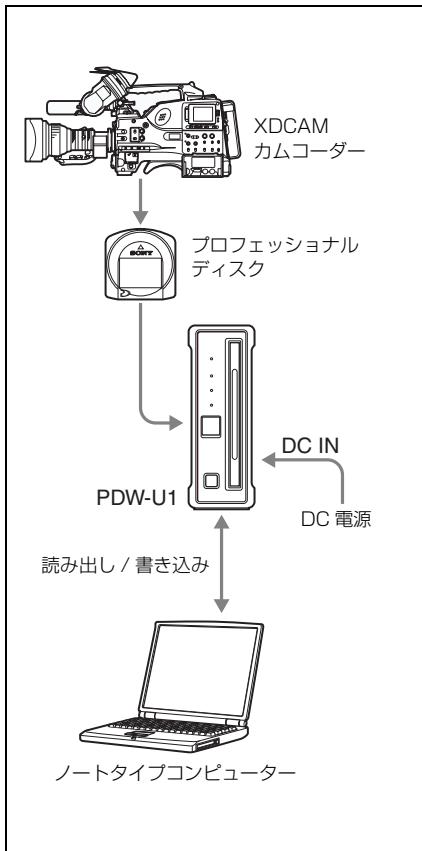
フィールドに携行できるよう小型、軽量設計になっています。また、耐衝撃性が高く、防塵性にすぐれた外装およびフレーム構造を採用しています。

## ユーティリティーソフトウェアによるコンピューターからのメニュー操作

ユーティリティーソフトウェアを、本機と接続するコンピューターにインストールすることによって、コンピューターから各種メニューの操作や設定、バージョンアップなどを行うことができます。

## 1-2 使用例

次図は、XDCAM カムコーダーで収録した素材を、本機に接続したコンピューターで読み出しおよび書き込みを行うシステムの例です。





# 1-3 推奨ソフトウェア

## 1-3-1 ソフトウェア一覧

本機を使用する際には、以下のソフトウェアをソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトからダウンロードしてください。

ソフトウェア	対象 OS	機能	入手先
XDCAM Drive Software	Windows/ Macintosh	本機をコンピューターと接続し、XDCAM に記録されたビデオやオーディオのデータをファイルとして扱うための基本ソフトウェアです。	ソニープロ フェッショナル / 業務用製品サイトから ダウンロード <sup>a)</sup>
ユーティリティーソフトウェア	Windows/ Macintosh	<p>本機に接続したコンピューター上で、以下の機能を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器情報の表示</li> <li>・ディスクのフォーマットや修復</li> <li>・ファームウェアの更新</li> <li>・各種の設定</li> </ul> <p><b>ご注意</b> ユーティリティーソフトウェアは、XDCAM Drive Software をインストールすることによって自動的にインストールされます。</p>	
Content Browser	Windows/ Macintosh	プロフェッショナルディスクに記録されたクリップを、閲覧、操作するソフトウェアです。Content Browser の概要とインストール方法については、ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト <sup>a)</sup> をご覧ください。	

- a) ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト
- ・ USA <http://pro.sony.com>
  - ・ Canada <http://www.sonybiz.ca>
  - ・ Latin America <http://sonypro-latin.com>
  - ・ Europe <http://www.pro.sony.eu>
  - ・ Japan <http://www.sonybsc.com>
  - ・ Asia <http://pro.sony-asia.com>
  - ・ Korea <http://bp.sony.co.kr>
  - ・ China <http://pro.sony.com.cn>

## 動作環境

上記の推奨ソフトウェアの機能および動作環境についての詳細は、下記のファイルまたはマニュアルをご覧ください（各ソフトウェアのダウンロードページで入手できます）。

XDCAM Drive Software :

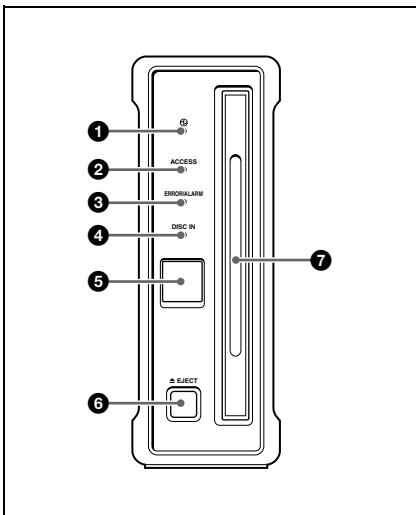
ReadMe.txt

Content Browser :

インストレーションガイド

## 各部の名称と働き

## 2-1 前面パネル



## ① ① (電源) インジケーター

後面の① (電源) ボタンがオンに設定されているとき、緑で点灯します。

## ② ACCESS (アクセス) インジケーター

コンピューターからディスクにアクセスしているとき、青で点滅します。

## ご注意

ACCESS インジケーター点滅中に後面の① (電源) ボタンをオフにしたり電源

コードを抜いたりしないでください。  
ディスク内のデータが破壊される恐れがあります。

## ③ ERROR/ALARM (エラー / アラーム) インジケーター

本機に異常が発生すると、次表のように赤で点灯または点滅します。

インジケーター	意味
点灯	結露が発生した。
0.25 秒間隔で点滅	エラー（主にハードウェアに起因する異常）が発生した。
1 秒間隔で点滅	上記以外のアラームが発生した。

## ご注意

アラームの内容によっては、インジケーターが5秒間だけ点滅または点灯する場合があります。

◆ 本機で発生したアラームは、ユーティリティーソフトウェアのアラームログで確認することができます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェアのヘルプをご覧ください。

◆ インジケーターが0.25秒間隔で点滅している、かつアラームログで確認できない異常は、故障の可能性があります。このような場合は、ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

異常な状態が解消されると、インジケーターは消灯します。

## ④ DISC IN (ディスクイン) インジケーター

本機にディスクが挿入されているとき、緑で点灯します。

## ⑤ マニュアルイジェクト機構部

本機に電源が供給されない状態でディスクを取り出すとき、この部分のカバーを開け、十字穴付きネジを反時計方向に回します。

- ◆ 詳しくは、「3-4-5 電源が供給されない状態でディスクを取り出すには」(20 ページ) をご覧ください。

## ⑥ EJECT (ディスク排出) ボタン

ディスクを取り出します (19 ページ参照)。

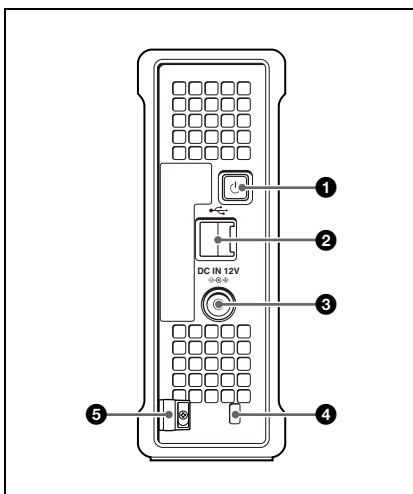
### ご注意

- このボタンはディスクアクセス中は無効になります。ディスクアクセスを停止してから取り出しか、コンピューターからの操作でディスクを取り出してください。
- 本機を Macintosh に接続しているときは、このボタンは無効になります。

## ⑦ ディスク挿入部

ラベル面を右側にしてディスクを挿入します (19 ページ参照)。

# 2-2 後面パネル



### ① ⌂ (電源) ボタン

電源を ON/OFF します。

### ② USB 端子 (Hi-Speed USB 対応)

付属の USB ケーブルを使ってコンピューターに接続します。

### ご注意

USB 端子を使って接続したコンピューターの映像 / 音声が出力されないときは、USB ケーブルを外して、もう一度まっすぐに接続し直してください。

### ③ DC 電源入力端子

付属の AC アダプターと電源コード (別売) を使って AC 電源に接続します。

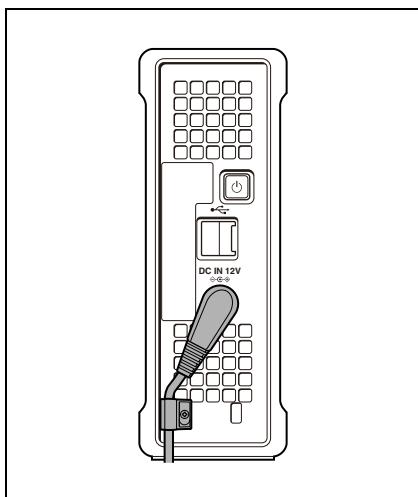
#### ④ 盗難防止キー取り付け穴

市販の盗難防止キーを取り付けることができます。

- ◆ 盗難防止キーの使いかたについては、ご使用になる盗難防止キーに付属の説明書をご覧ください。

#### ⑤ ケーブルクランパー

AC アダプターのケーブルを固定するためには、ケーブルクランパーにケーブルを挟み込んでください。



## 3-1 ソフトウェア のインストール

本機を使用するためには、本機を接続するコンピューターに各ソフトウェアをあらかじめインストールしておきます。

### ご注意

XDCAM Drive Software と、一部のアンチウイルスソフトウェア、スパイウェアツール、OS 標準以外の UDF2.5 ファイルシステムドライバーを含む製品とを同時にインストールすると、動作が不安定になる場合があります。

インストールが正しく終了できない場合は、それらのソフトウェアの競合や設定をご確認のうえ、再度インストールを行ってください。

### 3-1-1 Windows の場合

#### XDCAM Drive Software と ユーティリティーソフトウェア をインストールするには

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト (11 ページ) から XDCAM Drive Software をダウンロードしてください。

ダウンロードしたファイルを実行し、順次表示される画面に従って操作すると、XDCAM Drive Software に続いて、ユーティリティーソフトウェアがインストールされます。

### ご注意

- バージョンの古い XDCAM Drive Software がインストールされている場合、アンインストールが必要です。新しいバージョンをインストールする前に、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から、Sony XDCAM Drive Software を削除し、必ずコンピューターを再起動してください。
- インストールを実行すると、それ以前の設定項目の値は初期化されます。

### 3-1-2 Macintosh の場合

#### XDCAM Drive Software と ユーティリティーソフトウェア をインストールするには

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト (11 ページ) から Content Browser をダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルを解凍して、インストールパッケージを実行し、順次表示される画面に従って操作すると、

XDCAM Drive Software に続いて、ユーティリティーソフトウェアがインストールされます。

### ご注意

XDCAM Drive Software およびユーティリティーソフトウェアはインストールによって上書きされます。Ver.1.0 のユーティリティーソフトウェアを工場出荷時とは異なる場所にインストールして使用されていた場合は、手動で削除してください。

また、Ver.2.1 以降の設定項目は、新しいバージョンのユーティリティーソフトウェアをインストールした後も継承されます。

## 3-2 接続と設定

### 3-2-1 コンピューターとの接続

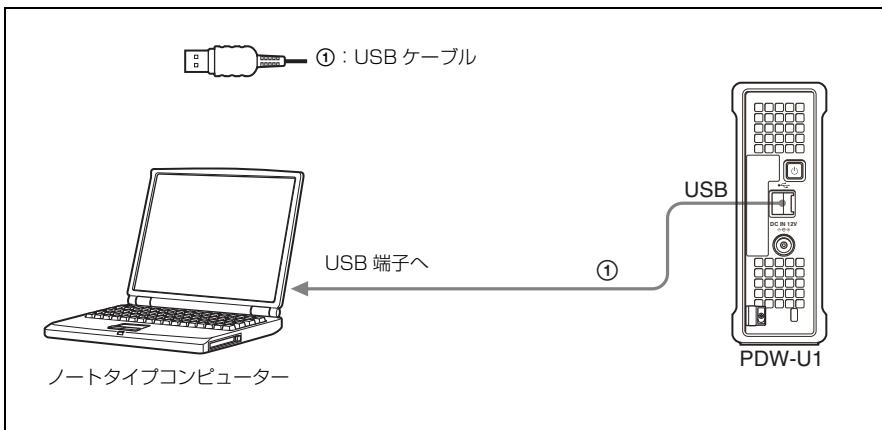
本機とコンピューターを接続することによって、ユーティリティーソフトウェアや他のソフトウェアを使用することができます。

- Windows 搭載のコンピューターに接続されている PDW-U1 の接続を解除する場合は、コンピューター側で「ハードウェアの安全な取り外し」を実行後にケーブルを抜いてください。

#### ご注意

- あらかじめ、XDCAM Drive Software (15 ページ参照) をインストールする必要があります。

#### 接続例



## 3-3 電源の準備

本機は AC アダプターを電源として使用します。

本機背面の DC 電源入力端子（13 ページ）に付属の AC アダプターと電源コード（別売）を接続します。

### ご注意

本機は、USB ケーブルを通じて給電することはできません。

## 3-4 ディスクの取り扱い

### 3-4-1 読み出し・書き込み可能なディスク

本機では、以下の Professional Disc（プロフェッショナルディスク）の読み出しおよび書き込みが可能です。

ディスク	作成可能なファイル数	ユーザーデータに記録できる最大データ容量
PFD23	5,000	21GB
PFD23A	5,000	21GB
PFD50DLA	6,000	46GB

### ご注意

本機では、以下のディスクの読み出しおよび書き込みはできません。

- Blu-ray Disc
- Professional Disc for Data

### 3-4-2 取り扱い上の注意

#### 取り扱いかた

プロフェッショナルディスクはカートリッジに収納されているため、ほこりや指紋を気にせずに手軽に取り扱えるように設計されています。ただし、落下等により強い衝撃をカートリッジに与えると、破損、ディスクへの傷の原因となることがあります。傷などがつくと、録画できなくなったり、録画した内容を再生できなくなることがありますので、取り扱いには十分注意してください。

扱いには充分注意し、大切に保管してください。

- カートリッジ内のディスクには直接触れないでください。
- 故意にシャッターを開けると破損の原因になります。
- カートリッジを分解しないでください。
- インデックスシールは付属のシールを推奨します。正しい位置にお貼りください。

### 保管のしかた

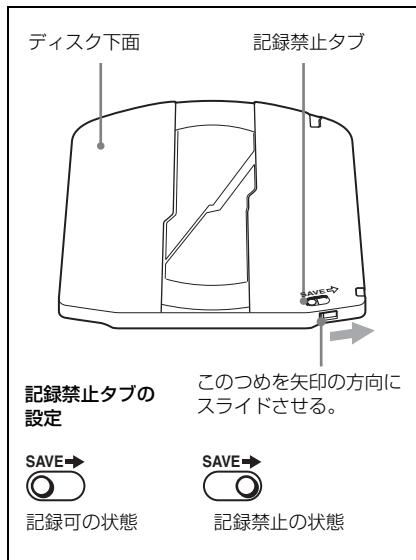
- 直接日光が当たるところなど、温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。
- カートリッジにはこりなどが入る可能性のあるところには放置しないでください。
- カートリッジはケースに入れて保存してください。

### お手入れのしかた

- カートリッジ表面についたほこりやゴミは、乾いた布で軽くふき取ってください。
- 結露した場合は、十分乾いてからご使用ください。

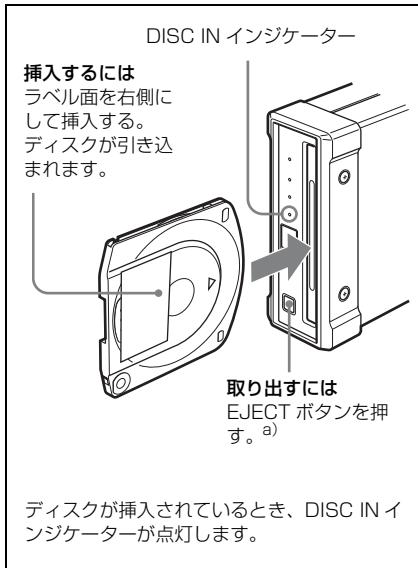
## 3-4-3 誤消去を防止するには

ディスクの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、次図のようにディスク下面（ラベル面の裏側）にある記録禁止タブを矢印の方向に設定しておきます。



## 3-4-4 ディスクを出し入れするには

ディスクの出し入れは、後面パネルの（電源）ボタンをオンにしてインジケーターを点灯させた状態で、次図に示すように行ってください。



a) Windows の場合のみ

### ご注意

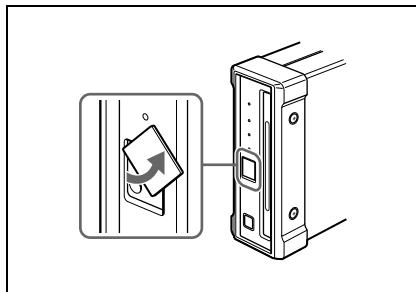
本機を Macintosh に接続している場合、EJECT ボタンは無効になります。ディスクを取り出すには、Macintosh の場合は、Finder の本機のアイコンの右にある「取り出し」ボタンをクリックするか、Dock 内の取り出しアイコンにドラッグアンドドロップします。

また、ディスクが Macintosh で認識されていない状態の場合は、本機のユーティリティーソフトウェアの画面に表示されるイジェクト用アイコンを使って取り出してください。

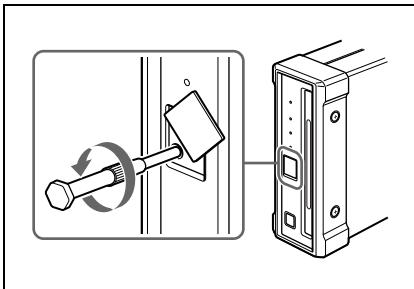
### 3-4-5 電源が供給されない状態でディスクを取り出すには

電源が供給されない場合、EJECT ボタンを押してもディスクを取り出すことができなくなります。このような場合は、緊急の処置として以下のように手動で取り出してください。

- 1 本機の電源を切る。
- 2 前面パネルのマニュアルイジェクト機構部のカバーを図のように反時計方向に回転させる。  
このとき、カバーを必要以上に回転させないよう注意してください。



- 3 ネジの位置をよく確認し、プラスドライバーを使用して、ディスクが排出されるまで反時計方向にネジを回す。



ディスクを取り出した後、ネジを元に戻す必要はありません。電源を入れることにより、再び通常どおり動作するようになります。

#### 4 カバーを元に戻す。

### 3-4-6 メディア保護機能

本機にはメディア保護機能が搭載されています。

#### メディア保護機能とは

本機にディスクが挿入されている状態で、後面の（電源）ボタンを押してオフにした場合や、電源コードを抜くなどしてAC電源が断たれた場合に、自動的にスタンバイオフモードに移行し、ディスクエラーを防ぐ機能です。

## 4-1 ユーティリティーソフトウェアの起動と終了

### 4-1-1 起動する

あらかじめ本機とコンピューターを接続しておきます。

- ◆ 接続については、「3-2-1 コンピューターとの接続」（17ページ）をご覧ください。

#### Windows の場合

本機に接続したコンピューターで以下のいずれかを実行します。

- ユーティリティーソフトウェアをインストールしたフォルダーを開き、ユーティリティーの実行ファイルをダブルクリックする。
- [スタート] ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」>「Sony XDCAM Drive」からユーティリティーソフトウェアを起動する。

#### Macintosh の場合

ユーティリティーソフトウェアをインストールしたフォルダーを開き、ユーティリティーの実行ファイルをダブルクリックします。

ユーティリティーソフトウェアのホーム画面が表示されます。

#### ご注意

ユーティリティーソフトウェアはコンピューターの管理者権限でログオンしないとユーザー設定画面の設定変更はできません。

### 4-1-2 終了する

#### Windows の場合

ウィンドウ右上の×（閉じる）ボタンをクリックします。

#### Macintosh の場合

ウィンドウ左上の×（閉じる）ボタンをクリックします。

# 付録

## 使用上のご注意

### 結露について

本機を冷たい場所から暖かい場所へ移したり、湿気の多い場所で使用したりすると、空気中に含まれる水蒸気が、光学ピックアップに水滴となって付着することがあります。これを結露といい、このような状態で本機を使用すると読み出しが正常に行われない可能性があります。

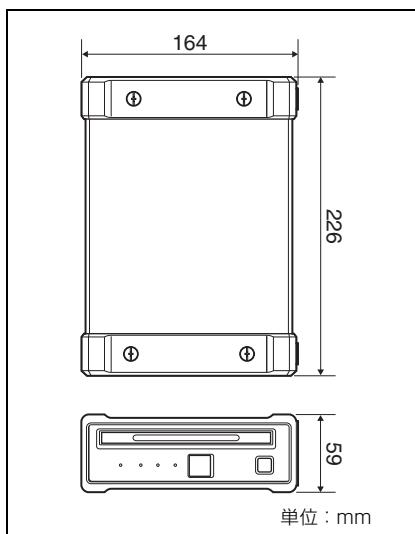
結露に対処する方法として、以下の点にご注意ください。

- ・結露の可能性のある状況で本機を移動するときは、あらかじめディスクを挿入しておいてください。
- ・①(電源)ボタンをオンにしたとき、ERROR/ALARM インジケーターが点灯し、ユーティリティーソフトウェアのアラームログに「HUMID!」と表示された場合は、インジケーターが消灯するまでディスクを入れないでください。

## 仕様

### 一般

電源 DC 12V  
消費電力 10W  
動作温度 5°C ~ 40°C  
保存温度 - 20°C ~ + 60°C  
動作湿度 20% ~ 90% (相対湿度)  
質量 1.4kg  
外形寸法 (幅 / 高さ / 奥行き)  
59 × 164 × 226mm



## システム

読み出し / 書き込みフォーマット

ビデオ

MPEG HD (50/35/25/  
18Mbps)、  
MPEG IMX (50/40/  
30Mbps)、DVCA  
(25Mbps)

プロキシビデオ

MPEG-4

オーディオ

MPEG HD : 16bits/48kHz  
(2/4ch) または 24bits/  
48kHz (8ch)

MPEG IMX : 16bits/48kHz  
(8ch) または 24bits/48kHz  
(4ch)

DVCA : 16bits/48kHz  
(4ch)

プロキシオーディオ

A-law (8/4ch, 8bits、8kHz)

記録 / 再生時間 (1層ディスク)

MPEG HD422

50Mbps : 約 43 分

MPEG HD (4ch)

35Mbps : 約 65 分

25Mbps : 約 85 分

18Mbps : 約 112 分

MPEG HD (2ch)

35Mbps : 約 68 分

25Mbps : 約 90 分

18Mbps : 約 122 分

MPEG IMX

50Mbps : 約 45 分

40Mbps : 約 55 分

30Mbps : 約 68 分

DVCA : 約 85 分

記録 / 再生時間 (2層ディスク)

MPEG HD422

50Mbps : 約 95 分

MPEG HD (4ch)

35Mbps : 約 145 分

25Mbps : 約 190 分

18Mbps : 約 248 分

MPEG HD (2ch)

35Mbps : 約 150 分

25Mbps : 約 200 分

18Mbps : 約 265 分

MPEG IMX

50Mbps : 約 100 分

40Mbps : 約 120 分

30Mbps : 約 150 分

DVCA : 約 185 分

## 入出力端子

USB 端子 (Hi-Speed USB 対応)

## 付属品

オペレーションマニュアル (1)

AC アダプター (1-492-005-1x) (1)

USB ケーブル (1-757-429-2x) (1)

## 別売りアクセサリー

電源コード (125V/6A、2m)

1-792-549-1x

仕様および外観は、改良のため予告なく  
変更することがあります、ご了承ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。



付録

**WARNING**

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

**WARNING**

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit. If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

**WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.**  
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.  
**DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.**

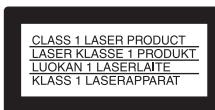
Plug Cap	Parallel blade (NEMA 1-15P Configuration)
Cord	Type NISPT-2 or SPT-2, two 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5 m (4 ft. 11in.), Less than 2.0 m (7 ft.)
Rating	Minimum 7A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

**WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.**

1. Use the approved Power Cord (2-core mains lead) / Appliance Connector / Plug that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (2-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.



The PDW-U1 is classified as a CLASS 1 LASER PRODUCT.

**Laser diode properties**

Wavelength: 400 to 410 nm  
Emission duration: Continuous  
Laser output power: 135 mW (max. of pulse peak), 65 mW (max. of CW)  
Standard: IEC60825-1 (2007)

**Egenskaber for laserdiode**

Bølgelængde: 400 til 410 nm  
Strålingsvarighed: Kontinuerlig  
Afgivet lasereffekt: 135 mW (maks stråletoppunkt), 65 mW (maks ved kontinuerlig stråling)  
Standard: IEC60825-1 (2007)

**Egenskaper for laserdiode**

Bølgelængde: 400 til 410 nm  
Strålingsvarighet: Uavbrutt  
Utgangseffekt for laser: 135 mW (maks stråletoppunkt), 65 mW (maks ved kontinuerlig stråling)  
Standard: IEC60825-1 (2007)

**Laserdiod - Egenskaper**

Våglængd: 400 - 410 nm  
Strålingens varaktighet: Kontinuerlig  
Lasereffekt: 135 mW (max. pulstopp), 65 mW (max. vid kontinuerlig våg)  
Standard: IEC60825-1 (2007)



This label is located inside the right side cover of the unit.

Denna etikett finns på den inre högra sidan av enheten.

Denne mærkat sidder på højre side inde i drevenheden.

Tämä kyltti sijaitsee laitteen kotelon sisäpinnan oikealla puolella.

Dette merket er plassert til høyre på innsiden av enheten.

该标签位于装置的右侧盖内侧。

## CAUTION

The use of optical instruments with this product will increase eye hazard.

## CAUTION

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure.

## VAROITUS!

LAITTEEN KÄYTÄMINEN MUULLA KUIN TÄSSÄ KÄYTÖÖHJEESSÄ MAINITULLA TAVALLA SAATTAA ALTISTAA KÄYTTÄJÄN TURVALLISUUSLUOKAN 1 YLITTÄVÄLLE NÄKYMÄTTÖMÄLLE LASERSÄTEILYLLÉ.

## VARNING

OM APPARATEN ANVÄNDS PÅ ANNAT SÄTT ÄN I DENNA BRUKSANVISNING SPECIFICERATS, KAN ANVÄNDAREN UTSÄTTAS FÖR OSYNLIG LASERSTRÅLNING, SOM ÖVERSKRIDER GRÄNSEN FÖR LASERKLASS 1.

## For the customers in the USA

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures;

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

*If you have any questions about this product, you may call;*

*Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or <http://www.sony.com/>*

### Declaration of Conformity

Trade Name	: SONY
Model	: PDW-U1

GB

Responsible Party : Sony Electronics Inc.  
Address : 16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.  
Telephone Number : 858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

### **For the customers in Canada**

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

### **For the customers in Europe, Australia and New Zealand**

#### **WARNING**

This is a Class A product. In a domestic environment, this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

### **For the customers in Europe**

This product has been manufactured by or on behalf of Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. Inquiries related to product compliance based on European Union legislation shall be addressed to the authorized representative, Sony Deutschland GmbH,

Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters, please refer to the addresses provided in the separate service or guarantee documents.

This apparatus shall not be used in the residential area.

### **AVERTISSEMENT**

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'éviter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

### **AVERTISSEMENT**

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

### **AVERTISSEMENT**

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 2 fils)/fiche femelle/fiche mâle conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 2 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

### **Pour les clients au Canada**

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## Pour les clients en Europe, Australie et Nouvelle-Zélande

### AVERTISSEMENT

Il s'agit d'un produit de Classe A. Dans un environnement domestique, cet appareil peut provoquer des interférences radio, dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre des mesures appropriées.

### Pour les clients en Europe

Ce produit a été fabriqué par ou pour le compte de Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Toutes les questions relatives à la conformité des produits basées sur la législation européenne doivent être adressées à son représentant, Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative au Service Après-Vente ou à la Garantie, merci de bien vouloir vous référer aux coordonnées qui vous sont communiquées dans les documents « Service » (SAV) » ou Garantie.

Ne pas utiliser cet appareil dans une zone résidentielle.



Cette étiquette est placée sur le panneau latéral de droite de l'unité.

### WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

### WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. Der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

### WARNUNG

1. Verwenden Sie ein zugelassenes Netzkabel (2-Leiter-Netzkabel) und einen Gerätestecker, die den Sicherheitsvorschriften des jeweiligen Landes entsprechen, falls zutreffend.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (2-Leiter-Netzkabel) und einen Gerätestecker, die den Leistungsanforderungen (Spannung, Stromstärke) genügen.

Falls Sie Fragen zum Gebrauch des obigen Netzkabels/Gerätesteckers haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

### Daten der Laserdiode

Wellenlänge: 400 bis 410 nm

Emissionsdauer: Ununterbrochen

Laser-Ausgangsleistung: 135 mW (max.

Impulsspitze), 65 mW (max.

Dauerstrich)

Standard: IEC60825-1 (2007)

## Für Kunden in Europa, Australien und Neuseeland

## WARNUNG

Dies ist eine Einrichtung, welche die Funk-Entstörung nach Klasse A besitzt. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.

## Für Kunden in Europa

Dieses Produkt wurde von oder für Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokio, 108-0075 Japan hergestellt. Bei Fragen zur Produktkonformität auf Grundlage der Gesetzgebung der Europäischen Union kontaktieren Sie bitte den Bevollmächtigten Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Für Kundendienst oder Garantieangelegenheiten wenden Sie sich bitte an die in den Kundendienst- oder Garantiedokumenten genannten Adressen.

Dieser Apparat darf nicht im Wohnbereich verwendet werden.



Dieser Aufkleber befindet sich auf der Innenseite der rechten Seitenabdeckung der Einheit.

---

# Table of Contents

---

## Chapter 1 Overview

1-1 Features .....	33
1-2 Example of Use .....	35
1-3 Recommended Software .....	36
1-3-1 List of Software.....	36

---

## Chapter 2 Names and Functions of Parts

2-1 Front Panel .....	37
2-2 Rear Panel .....	38

---

## Chapter 3 Preparations

3-1 Software Installation .....	40
3-1-1 Windows Installation .....	40
3-1-2 Macintosh Installation .....	40
3-2 Connections and Settings.....	41
3-2-1 Connecting to a Computer .....	41
3-3 Power Preparations .....	42
3-4 Handling Discs .....	42
3-4-1 Discs Used for Reading and Writing .....	42
3-4-2 Notes on Handling .....	42
3-4-3 Write-Protecting Discs .....	43
3-4-4 Loading and Unloading Discs .....	43
3-4-5 To Eject Discs With the Unit Powered Off .....	44
3-4-6 Media Protection Function .....	44

---

## Chapter 4 Using the Software

4-1 Starting and Exiting the Utility Software .....	46
4-1-1 Starting .....	46
4-1-2 Exiting .....	46

---

## Appendix

<b>Important Notes on Operation .....</b>	<b>47</b>
Condensation .....	47
<b>Specifications.....</b>	<b>47</b>

# Overview

# 1

## Chapter

### 1-1 Features

The PDW-U1 is a compact and lightweight disc drive which, when connected to a nonlinear editor, enables reading and writing of video and audio data. In combination with a laptop computer, it can be used in the field, and together with a nonlinear editor, it provides an ideal inexpensive video production system. The features of the PDW-U1 include the following.

#### Support for all XDCAM formats

Reading and writing are supported in all formats adopted by the XDCAM<sup>1)</sup> series, that is, MPEG HD422, MPEG HD, MPEG IMX, and DVCAM, in addition to all bit rates.

1) XDCAM is a trademark of Sony Corporation.

#### Support for mixed format recording mode

As long as the frame frequency group is the same, clips in different recording formats can be recorded or written to the same disc.<sup>1)</sup>

The system frequencies supported by this unit are divided into frame frequency groups, as shown in the following table.

1) The recording format is regarded as different whenever the system frequency, video

resolution, video codec/bit rate, or number of audio channels or number of bits does not match.

Frame frequency group	System frequency
59.94Hz	59.94P
	59.94i
	29.97P
50Hz	50P
	50i
	25P
23.98Hz	23.98P

You can record clips with different recording formats, for example HD422 and HD420SP clips, by putting this unit into mixed format recording mode.

#### Note

Continuous playback may not be possible at the transition point between two clips with different recording formats.

#### Support for dual-layer discs

This unit supports single-layer (23.3 GB) and dual-layer (50 GB) discs.

#### IT-friendly system through USB interface

The interface is the very widely used high-speed USB (USB 2.0), enabling easy connection to a computer. The PDW-U1 can be used in the same way that an external drive is used to load data files from the

drive into the computer, and to write data files from the computer to the drive.

## User data recording mode

User data (files other than XDCAM AV files) can be recorded on Professional Discs as PC data via the USB interface. This allows Professional Discs to be used as data recording media, with a data storage capacity of 46 GB (when dual-layer PFD50DLA discs are used).

### Notes

- The maximum number of files that can be created on a disc is 5,000 for single-layer discs and 6,000 for dual-layer discs (both including directories). The maximum number of clips that can be created on a disc is 300, for both single-layer and dual-layer discs.  
If this limit is reached, nothing more can be written to the disc, even if the disc still has free capacity remaining.
- Directly editing or executing files stored in the UserData directory may cause an error depending on the type or settings of the application.  
Specifically, avoid execution of applications which attempt to create a temporary work area in the directory and direct execution of executable files stored in the directory.

## High data transfer rates

The newly-developed optical drive allows high-speed access (maximum read speed 120 Mbps, maximum write speed 84 Mbps) from a nonlinear editing system.

## XDCAM preview environment

By using the Content Browser application software (Windows/Macintosh), you can easily construct an environment consisting of this unit and other XDCAM devices that allows you to preview, transfer, and operate on XDCAM clips.

*Refer to Sony Professional products web site (page 36) for information about how to install the application software and about application functions.*

## Lightweight and compact field specification

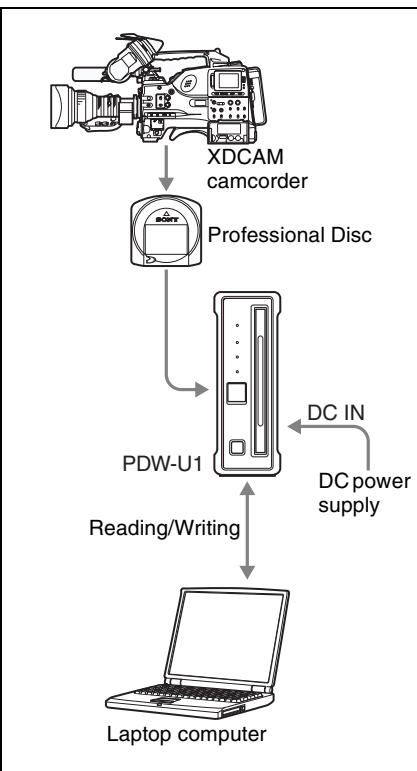
The unit is designed to be lightweight and compact for use in the field. The mechanical construction is highly resistant to shocks and dust.

## Menu operation from a computer using the utility software

By installing the utility software in a computer connected to this unit, you can make settings or upgrade the unit by means of menu operations on the computer.

## 1-2 Example of Use

The following figure shows an example system for reading or writing material recorded with a XDCAM camcorder on a computer connected to this unit.



# 1-3 Recommended Software

## 1-3-1 List of Software

Download the following software from the Sony Professional Products site for use with this unit.

Software	Supported OS	Function	Source
XDCAM Drive Software	Windows/ Macintosh	Basic software that allows you to connect this unit to a computer and handle XDCAM video and audio data as files.	Download from the Sony Professional Products site <sup>a)</sup>
Utility Software	Windows/ Macintosh	<p>Provides the following functions on a computer connected to this unit.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Displaying device information</li> <li>• Disc format and recovery</li> <li>• Firmware updates</li> <li>• Making settings</li> </ul> <p><b>Note</b></p> <p>The Utility Software is installed automatically when you install the XDCAM Drive Software.</p>	Download from the Sony Professional Products site <sup>a)</sup>
Content Browser	Windows/ Macintosh	<p>Allows you to view and operate on clips recorded on Professional Discs.</p> <p>For an overview of the Content Browser and installation instructions, visit the Sony Professional products web site <sup>a)</sup>.</p>	Download from the Sony Professional Products site <sup>a)</sup>

a) Sony Professional Products site

- USA <http://pro.sony.com>
- Canada <http://www.sonybiz.ca>
- Latin America <http://sonypro-latin.com>
- Europe <http://www.pro.sony.eu>

- Japan <http://www.sonybsc.com>
- Asia <http://pro.sony-asia.com>
- Korea <http://bp.sony.co.kr>
- China <http://pro.sony.com.cn>

## System Requirements

For details on the functions of the above recommended software and their system requirements, refer to the following file and manual (available on the download page of each respective software).

XDCAM Drive Software:

ReadMe.txt

Content Browser:

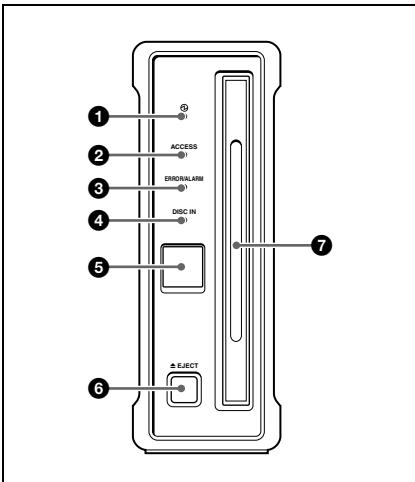
Installation Guide

# Names and Functions of Parts

# 2

## Chapter 2

### 2-1 Front Panel



#### ① ② (power) indicator

Lights green when the  $\odot$  (power) button on the rear panel is on.

#### ② ACCESS indicator

Flashes blue when the disc is being accessed from the computer.

#### Note

Do not press the  $\odot$  (power) button on the rear panel to turn off, or disconnect the power cord while the ACCESS indicator is flashing. Doing so may lead to a loss of data on the disc.

#### ③ ERROR/ALARM indicator

If a fault occurs in the unit, this lights continuously or flashes red, as shown in the following table.

Indicator	Meaning
Lit continuously	Condensation has occurred.
Flashing four times a second	An error occurred (principally a hardware default).
Flashing once a second	An alarm not listed above occurred.

#### Note

The indicator may flash or light only for five seconds depending on the alarm.

*You can check alarms generated by this unit, using the alarm log of the utility software. For details, refer to the help file of the utility software.*

*If the indicator is flashing four times a second, and it is not possible to check the alarm log, a malfunction may have occurred. In this case, contact your Sony service representative.*

When the error is eliminated, the indicator goes off.

#### ④ DISC IN indicator

Lights green when a disc is loaded.

#### ⑤ Manual eject mechanism

When there is no power supply to the unit, to eject the disc, remove the cover over this part, then turn the screw counterclockwise with a Phillips screwdriver.

For details, see 3-4-5 “To Eject Discs With the Unit Powered Off” (page 44).

## 6 EJECT button

Ejects a disc (see page 43).

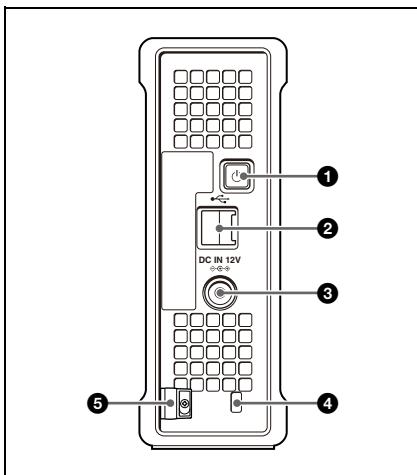
### Notes

- This button is disabled while the disc is being accessed. Either stop accessing the disc before ejecting, or eject by an operation from the computer.
- When this unit is connected to a Macintosh computer, this button is disabled.

## 7 Disc slot

With the label surface on the right, insert the disc (see page 43).

# 2-2 Rear Panel



### ① ⏪ (power) button

This switches the power on and off.

### ② USB connector (Hi-speed USB)

Use the supplied USB cable to connect to the computer.

### Note

If the video and audio are not output on a computer connected using the USB connector, try disconnecting the USB cable, and reconnect making sure it is correctly inserted.

### ③ DC power inlet connector

Connect to the AC power using the supplied AC adaptor and a power cord (not supplied).

### ④ Security slot

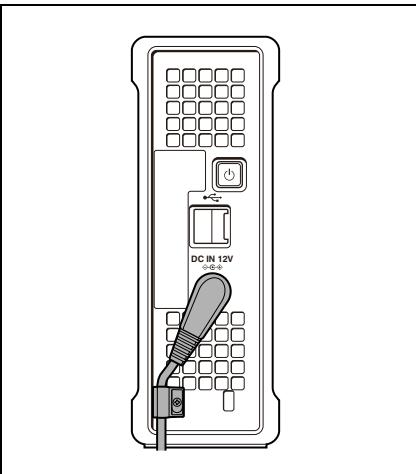
You can fit a commercially available security cable into this slot.

*For information about how to use your security cable, refer to the instructions provided with the security cable.*

## ⑤ Cable clamer

Use this clamer to fix the cable of the AC adaptor.

Clip the cable with the clamer as shown in the following figure.



## 3-1 Software Installation

To use this unit, the necessary software must first be installed on the computer to which it is connected.

### Note

Operation of the XDCAM Drive Software may be unstable if it is installed together with some anti-virus software, spy-ware tools, or UDF2.5 file system drivers other than the operating system standard. If the installation cannot be completed successfully, check the settings for conflicts with this other software, then try reinstalling.

### 3-1-1 Windows Installation

#### To install the XDCAM Drive Software and utility software

Download the XDCAM Drive Software from the Sony Professional products web site (page 36).

Run the downloaded file and follow the instructions that appear on the screen to install both the XDCAM Drive Software and the Utility Software.

### Notes

- If an old version of the XDCAM Drive Software is already installed, it must be uninstalled before you install the new version. Use “Add or Remove Programs” on the Control Panel to remove the old version of the Sony XDCAM Drive Software. After doing so, be sure to restart the computer.
- After installation, the previous settings return to their default values.

### 3-1-2 Macintosh Installation

#### To install the XDCAM Drive Software and utility software

Download the Content Browser from the Sony Professional products web site (page 36).

Extract the downloaded file, run the installation package, and follow the instructions that appear on the screen to install both the XDCAM Drive Software and the Utility Software.

### Note

Installing the XDCAM Drive Software and utility software overwrites a previous installation.

If you are using version 1.0 of the utility software installed somewhere other than the factory default, remove it manually. Settings from version 2.1 and later are preserved after the new installation.

## 3-2 Connections and Settings

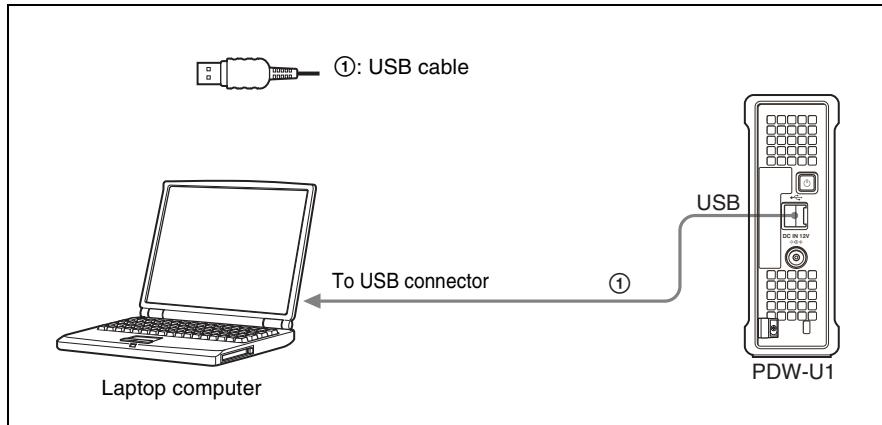
### 3-2-1 Connecting to a Computer

By connecting this unit to a computer, you can use the utility software, and the other software.

#### Notes

- The XDCAM Drive Software (*see page 40*) must be installed in advance.
- To disconnect the PDW-U1 from a Windows computer, run the “Safely Remove Hardware” dialog, and then disconnect the cable.

#### Example connection



## 3-3 Power Preparations

This unit can be powered by AC adaptor. Connect the supplied AC adaptor and a power cord (not supplied) to the DC power inlet connector (*page 38*) on the rear panel of the unit.

### Note

It is not possible to power this unit through a USB cable.

## 3-4 Handling Discs

### 3-4-1 Discs Used for Reading and Writing

This unit uses the following professional discs for reading and writing:

Disc	No. of files which can be created	Max. data capacity for user data recording
PFD23	5,000	21 GB
PFD23A	5,000	21 GB
PFD50DLA	6,000	46 GB

### Note

This unit cannot read or write the following discs.

- Blu-ray Disc
- Professional Disc for Data

### 3-4-2 Notes on Handling

#### Handling

The Professional Disc is housed in a cartridge, and is designed to allow handling free of risk from dust or fingerprints. However, if the cartridge is subjected to a severe shock, for example by dropping it, this can result in damage or scratching of the disc. If the disc is scratched, it may be impossible to record video/audio, or to play back the content recorded on the disc. The discs should be handled and stored carefully.

- Do not touch the surface of the disc itself within the cartridge.

- Deliberately opening the shutter may cause damage.
- Do not disassemble the cartridge.
- The supplied adhesive labels are recommended for indexing discs. Apply the label in the correct position.

### Storage

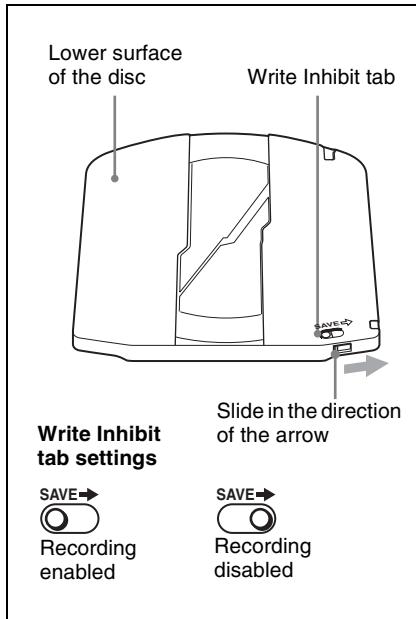
- Do not store discs where they may be subjected to direct sunlight, or in other places where the temperature or humidity is high.
- Do not leave cartridges where dust may be able to gain ingress.
- Store cartridges in their cases.

### Care of the discs

- Remove dust and dirt on the outside of a cartridge using a soft dry cloth.
- If condensation forms, allow ample time to dry before use.

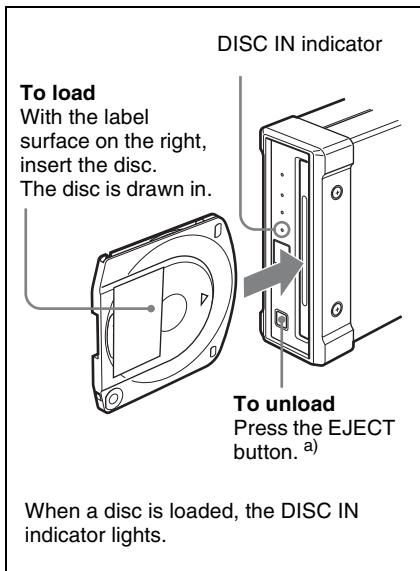
## 3-4-3 Write-Protecting Discs

To protect the content recorded on the disc from accidental erasure, move the write-protect tab on the lower surface of the disc in the direction of the arrow, as shown in the following figure.



## 3-4-4 Loading and Unloading Discs

To load and unload a disc, press  $\text{P}$  (power) button to turn the unit on and light the indicator, and follow the procedures indicated in the next illustration.



a) Windows only

### Note

The EJECT button is disabled when this unit is connected to a Macintosh computer. To eject a disc, click the Eject button to the right of the Finder icon for this unit, or drag to the eject icon in the Dock.

If the Macintosh does not recognize the disc, eject the disc by using the eject icon in the utility software of this unit.

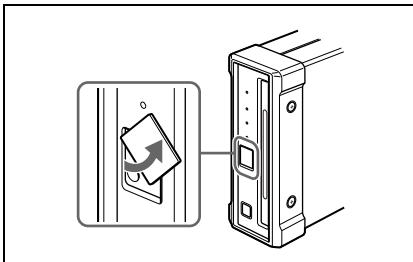
## 3-4-5 To Eject Discs With the Unit Powered Off

When the power is not supplied, it may not be possible to eject discs by pressing the EJECT button. In these situations, you can use the following as an emergency procedure to eject a disc manually.

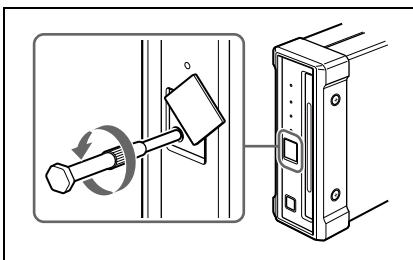
- 1 Power the unit off.
- 2 Turn the cover of the manual eject mechanism on the front panel

counterclockwise, as shown in the figure.

Be careful not to turn the cover more than necessary.



- 3 Check the position of the screw, then using a Phillips screwdriver, turn the screw counterclockwise until the disc is ejected.



After ejecting the disc, it is not necessary to return the screw to its original position. The next time the unit is powered on, normal operation will resume.

- 4 Replace the cover.

## 3-4-6 Media Protection Function

This unit is equipped with a media protection function.

The media protection function means that when a disc is loaded in the unit, if you press the  $\square$  (power) button on the rear

panel, turning it off, or disconnect the power cord to shut off the AC supply, the unit switches automatically to standby-off mode, and prevent a disc error.



# Using the Software

## 4-1 Starting and Exiting the Utility Software

### 4-1-1 Starting

First make sure that this unit is connected to the computer.

*For connection details, see 3-2-1 “Connecting to a Computer” (page 41).*

#### On a Windows computer

With the computer connected to this unit, carry out any of the following.

- Open the folder in which the utility software is installed, then double click on the executable file of the Utility Software.
- Click the Start button, and then select “All Programs” > “Sony XDCAM Drive” to start the Utility Software.

#### On a Macintosh computer

Open the folder in which the utility software is installed, and then double click on the executable file of the Utility Software.

This displays the home window of the utility software.

#### Note

You must log on to the computer as a user with Computer Administrator privileges to be able to change the settings in the User Settings screen of the utility software.

### 4-1-2 Exiting

#### On a Windows computer

Click the × (close) button in the top right corner of the window.

#### On a Macintosh computer

Click the × (close) button in the top left corner of the window.

# Appendix

## Important Notes on Operation

### Condensation

When this unit is moved from a cold place to a warmer place, or operated in high humidity, condensation may form on the optical pickup. If the unit is operated in this state, it may make correct reading and writing impossible.

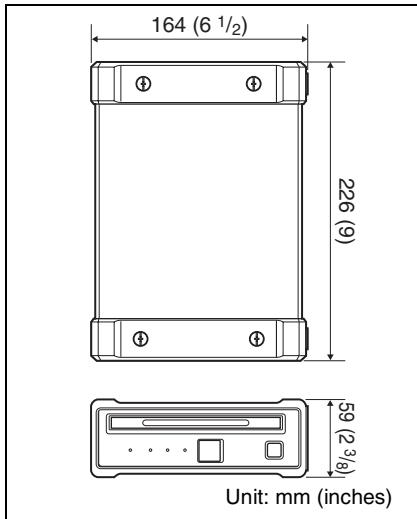
Note the following points, to avoid problems with condensation.

- If moving the unit in conditions where condensation is possible, make sure the disc is inserted in advance.
- When the  $\odot$  (power) button is on, if the ERROR/ALARM indicator lights, and "HUMID!" appears in the utility software alarm log, do not insert a disc until the indicator has gone off.

## Specifications

### General

Power requirements	DC 12 V
Power consumption	10 W
Operating temperature	5°C to 40°C (41°F to 104°F)
Storage temperature	-20°C to +60°C (-4°F to +140°F)
Operating relative humidity	20% to 90% Less than 90%
Mass	1.4 kg (3 lb 1 oz)
External dimensions (w/h/d)	59 × 164 × 226 mm ( $2\frac{3}{8}$ × $6\frac{1}{2}$ × 9 inches)



## System

### Reading/Writing formats

#### Video

MPEG HD (50/35/25/18 Mbps), MPEG IMX (50/40/30 Mbps), DVCAM (25 Mbps)

#### Proxy video

MPEG-4

#### Audio

MPEG HD: 16 bits/48 kHz (2/4ch) or 24 bits/48 kHz (8ch)

MPEG IMX: 16 bits/48 kHz (8 ch) or 24 bits/48 kHz (4 ch)

DVCAM: 16 bits/48 kHz (4 ch)

#### Proxy audio

A-law (8/4 channels, 8 bits, 8 kHz)

### Recording/Playback times (single layer disc)

#### MPEG HD422

50 Mbps: Approx. 43 min.

#### MPEG HD (4 ch)

35 Mbps: Approx. 65 min.

25 Mbps: Approx. 85 min.

18 Mbps: Approx. 112 min.

#### MPEG HD (2 ch)

35 Mbps: Approx. 68 min.

25 Mbps: Approx. 90 min.

18 Mbps: Approx. 122 min.

#### MPEG IMX

50 Mbps: Approx. 45 min.

40 Mbps: Approx. 55 min.

30 Mbps: Approx. 68 min.

#### DVCAM: Approx. 85 min.

### Recording/Playback times (dual-layer disc)

#### MPEG HD422

50 Mbps: Approx. 95 min.

#### MPEG HD (4 ch)

35 Mbps: Approx. 145 min.

25 Mbps: Approx. 190 min.

18 Mbps: Approx. 248 min.

#### MPEG HD (2 ch)

35 Mbps: Approx. 150 min.

25 Mbps: Approx. 200 min.

18 Mbps: Approx. 265 min.

#### MPEG IMX

50Mbps: Approx. 100 min.

40Mbps: Approx. 120 min.

30Mbps: Approx. 150 min.

#### DVCAM: Approx. 185 min.

## Output/input connector

USB Connector (High-Speed USB support)

## Accessories supplied

Operation manual (1)

AC adaptor (1-492-005-1x) (1)

USB cable (1-757-429-2x) (1)

## Accessories not supplied

AC power cord (1)

- For the customers in the U.S.A. and Canada

Part No. 1-757-562-1x (125 V, 7 A, about 2.0 m)

- For the customers in European countries  
Part No. 1-575-131-8x (250 V, 2.5 A,  
about 2.0 m)

Design and specifications are subject to  
change without notice.

#### Notes

- Always make a test recording, and verify that it was recorded successfully.  
**SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF FAILURE OF THIS UNIT OR ITS RECORDING MEDIA, EXTERNAL STORAGE SYSTEMS OR ANY OTHER MEDIA OR STORAGE SYSTEMS TO RECORD CONTENT OF ANY TYPE.**
- Always verify that the unit is operating properly before use. **SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.**





## Appendix

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。

従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Sony Corporation and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual.

Sony Corporation expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Sony Corporation.

## For Customer in China

根据中华人民共和国信息产业部第39号令《电子信息产品污染控制管理办法》及标准中要求的“有毒有害物质或元素名称及含量”等信息，本产品相关信息请参考以下链接：

<http://pro.sony.com.cn>

出版日期：2012年10月

# Sony Corporation

<http://www.sony.net/>

PDW-U1

(SYL)

3-281-393-18(1)

この説明書は、再生紙を使用しています。

Printed on recycled paper.

Printed in Japan

2012.10.32

©2007